



令和3年12月3日

～美ら島の未来を拓く～

内閣府沖縄総合事務局

ドローン（UAV）を活用した福地ダム上流洪水吐の点検調査を行います

※前回11/17（水）に予定しておりましたが悪天候で中止になった為、改めて12/15（水）に再度調査を行います。

【コンクリートの劣化・損傷等の変状調査を実施。】

記者発表資料

福地ダムの上流洪水吐きは海岸に接しているため、アプローチする道路がないことから、直接コンクリート劣化・損傷状態を把握する調査は困難です。

しかし、近年はUAV（ドローン）を用いた調査手法が開発され、短時間で安全に広範囲に調査、解析を行うことが可能となりました。

今回、福地ダム上流洪水吐において、ドローンの自律航行によるコンクリート構造物劣化、損傷調査を行います。

また、現地におきましてはドローン調査で得られたデータの解析手法についてもご紹介します。

◆日 時：令和3年12月15日（水）13:30～15:00

※13:00より受付を開始しますので13:30までに集合場所（地図参照）にお集まりください。

◆開催場所：福地ダム上流洪水吐き（別添地図参照）

◆参加申し込みに関してはFAXにて受付を致します。

申込用紙を添付しておりますので、記入後ダム統管担当者まで
送付をお願い致します。

福地ダムの特徴

- ・堤高91.7M、堤頂長260.0Mのロックフィルダムで沖縄県内最大規模のダム。
- ・洪水吐きは、下流洪水吐き（ドラムゲート式）と上流洪水吐き（サイフォン式）で構成される。
- ・貯水池から直接海に放流する上流洪水吐は全国では福地ダムだけ。

令和3年12月3日

沖縄総合事務局

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

i-Constructionに関する問い合わせ窓口

内閣府沖縄総合事務局開発建設部

技術管理課 課長 宮城一正

TEL:098-866-1904（内線：3311）

技術管理課 課長補佐 新城晴伸

TEL:098-866-1904（内線：3330）

ドローン（UAV）を活用した福地ダム上流洪水吐の点検調査

北部ダム統合管理事務所 管理課(津嘉山・津堅) 宛

FAX.0980-52-4444

TEL. 0980-53-2442(津嘉山:内 71-332・津堅:内 71-333)

参 加 申 込 書

申込締切：令和3年12月10日（金）迄

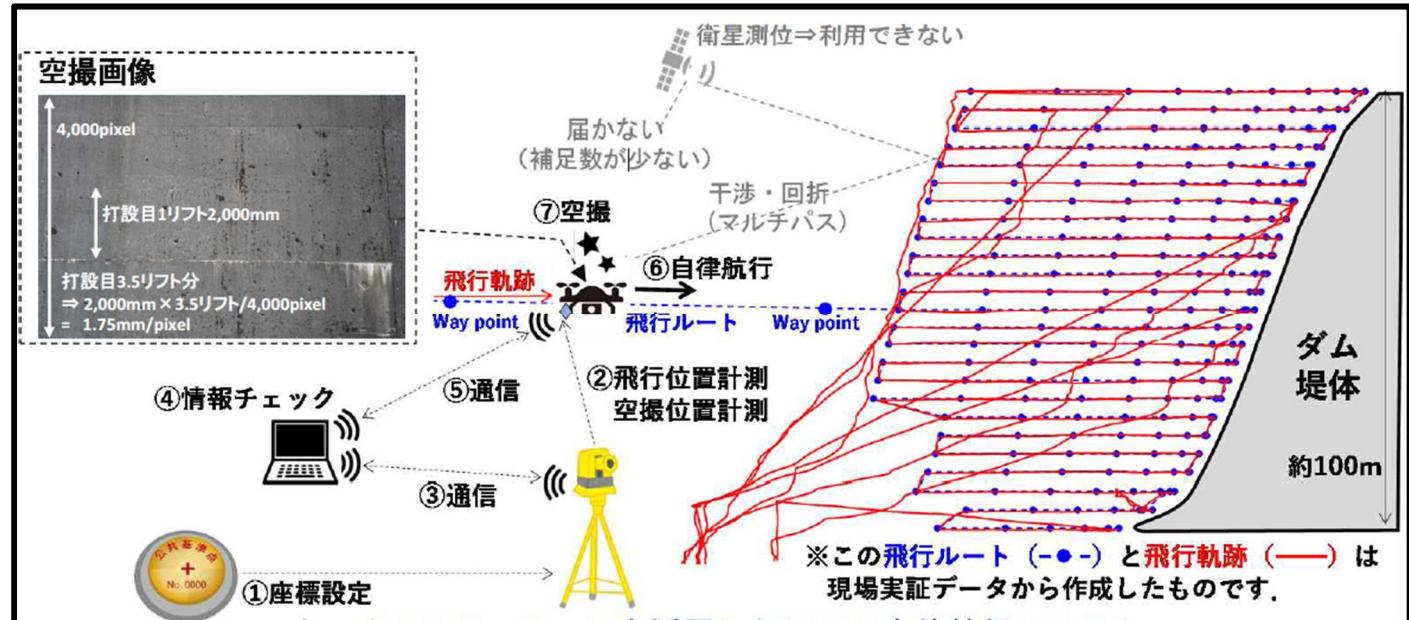
2021年 月 日 申込

フリガナ		
会社名		
フリガナ		参加人数
参加名（代表者名）		計名
住所		
TEL / FAX	TEL	FAX
代表者連絡先	TEL	E-mail

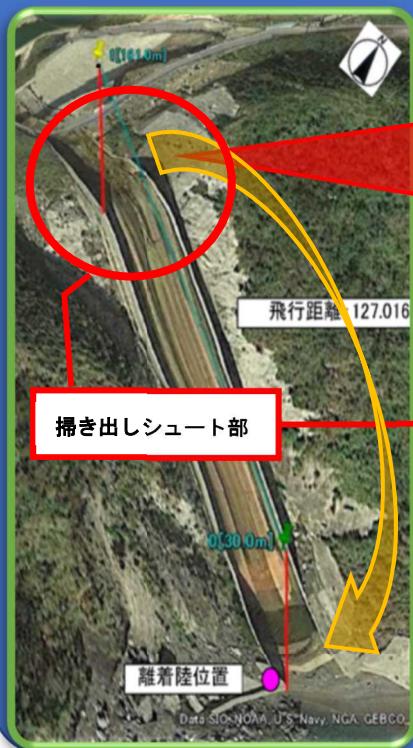
- ☆ 会社名・参加者名には、必ずフリガナを、参加人数（合計）もご記載下さい。
- ☆ 参加される方はヘルメットを持参してください。
- ☆ 中止の連絡に関して
　　当日：10：30までに申込み用紙記載の連絡先へ連絡いたします。
- ☆ 前回（11月）の様に小雨でドローンが飛行しない場合は、飛行していた時の映像などを現場で流して対応したいと思います。

UAV を活用した福地ダム上流洪水吐き点検調査

- ・調査員による近接確認が難しい洪水吐きシート部床版と導流壁内側の変状調査に UAV (ドローン) を活用し調査を行う。
- ・トータルステーションを活用した UAV の自己位置推定技術を適用させることで UAV の自律航行を可能としました。
- ・TS を使用することで対象物の正対撮影、離隔距離を一定に保持して撮影が出来るため写真合成時の歪みが最小となり、より適正な評価が可能。



今回の調査イメージ



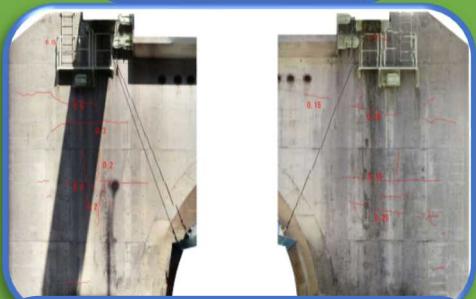
ドローンを掃き出しシート部から矢印方向に飛行させ、撮影した写真より展開画像、劣化マップを作成

調査状況イメージ

展開画像、劣化マップの作成イメージ



右岸側壁下部展開画像



*オルソ画像：航空カメラで撮影された空中写真は、レンズの中心から対象物までの距離の違いにより、写真上の像に位置ズレが

生じます。オルソ画像とは写真上の像の位置ずれをなくし空中写真を地図と同じく、真上から見たような傾きのない、正しい大きさと位置に表示される画像に変換したもの。

見学会会場(案内図)

